

第21回 名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）対策協議会総会 議事録

日 時：平成30年11月12日（月）午後3時～3時30分

場 所：西尾市役所41会議室

出席者：（構 成 員）西尾市 長島副市長

蒲郡市 井澤副市長

愛知県振興部交通対策課 柴山課長

（オブザーバー）国土交通省中部運輸局鉄道部監理課 鈴木課長

名古屋鉄道株式会社鉄道事業本部計画部 加藤部長

[発言要旨]

1 開会

（会長：西尾市）

本日の総会は、平成29年度名鉄西尾・蒲郡線の概況と、にしがま線げんき戦略に係る現状について報告がある。

2 報告事項

平成29年度名鉄西尾・蒲郡線の概況について（名古屋鉄道）

資料1に基づいて報告

3 その他

にしがま線げんき戦略に係る現状報告について（事務局：西尾市地域支援協働課）

資料2に基づいて概要と現状の報告

4 意見交換

(蒲郡市)

蒲郡市は29年度、名鉄西尾・蒲郡線への誘客のために主に2つの事業に取り組んだ。1つ目はボートレース事業部の場内利用券配布サービス。2つ目は、名鉄の「でんしゃ旅」の宿泊者特典として、宿泊施設館内利用券と竹島水族館入館券配布を10月から始めた。その他、名鉄蒲郡駅などでの駅前コンサート、東幡豆駅から形原駅までのウォーキングイベントなどを実施している。引き続き、利用促進を図っていきたい。

(愛知県)

名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会において、様々なメディア等を通じた沿線の魅力発信やレンタサイクル事業など誘客推進事業が進められており、県も一定の支援をしている。この取り組みが同路線の更なる利用促進につながることを期待している。

(中部運輸局)

両市で策定された地域公共交通網形成計画の着実な実施や、にしがま線げんき戦略の取り組みなどにより、今後更に利用促進を進めていただきたい。運輸局としては交通計画の面だけでなく、観光面の取り組みである昇龍道プロジェクトなど国内の誘客推進事業において引き続き、この地域への来訪者増加に積極的に取り組んでいきたい。

(名古屋鉄道株式会社)

29年度の全線の輸送人員は、訪日外国人の増加や、沿線の雇用情勢を背景に堅調に推移し、西尾～蒲郡間も名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会の利用促進策もあり、増加した。当社においても、西尾キャンペーンにかき氷やパフェを新たにテーマに加え、更なる魅力づけを行っている。沿線ハイキングは、6月、形原駅から三河鹿島駅までの常設コースを設定した。昨日、福地駅から西尾駅までのハイキングを開催し、多くの方にご参加いただいた。また、西浦温泉を含めた「でんしゃ旅」の発売も引き続き行っている。当線区の経常収支は、依然として厳しい状況だが、安全輸送を最優先に効率的な路線運営と利用促進に努めていきたい。

(西尾市副市長)

名鉄西尾・蒲郡線は公共交通の基軸をなし、まちづくりに関わる重要課題の一つ。本路線の運行継続のために、蒲郡市と力を合わせて、色々な面から研究を進めていく。その際は、皆様のお知恵をお借りしたい。今後にもしがま線げんき戦略をベースに全力で取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いしたい。

(以上)